

## 『新しく生まれなければ』 ヨハネの福音書 3章1～17節 2017.5.21(聖日礼拝説教より)

『だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。』Ⅱコリント5章17節

**①新しく生まれなければ(3節)**…ニコデモは、学識も教養もあり、真面目に生きながらも「湯き」を覚えていた。そこを見抜いたイエス様は、『新しく生まれなければ神の国と関係なし!』と告げる。聖書には、神との「新しい関係」について、①夫婦関係(エペソ5:32)、②親子関係(ヨハネ1:12)、③国籍を天に(ピリピ3:20)、そして④「友」の関係(ヨハネ15:15)の説明がある! 信仰生活は、義務や責任、真面目さだけでは、やがて疲れる! 創り主との関係には、安心や励まし、慰めや信頼、楽しみや喜びがある! ニコデモは、イエス様と親しい関係に変えられた(7、19章)!

**②水と御霊によって生まれなければ(5節)**…神の国は、努力や頑張りでは入れない! ある説明によると、「水」とは、母胎からの肉体(プッシュケ)の誕生を意味し、御国に入る永遠の命(ゾ-エ-)は、信仰により、罪が贖われる、聖霊による誕生を意味する! ★あなたは、肉の誕生だけだろうか? それとも、霊的に新しく誕生しただろうか? 「新生」には、3つの特徴がある。①**受身!**赤ちゃんは生み出されてこそ誕生する! 人は、霊によって新創造される! ②**神の主権!**「風はその思い(御心)のままに吹く(8節)」! 神の御心は、15節「信じる者が人の子にあってみな永遠の命を持ち」、16節「御子を信じ者が、一人も滅びず」、17節「御子によって世が救われる」こと。これこそが神の最大の喜び! ③**神の奥義(秘密)!** 霊の働きは見えないが、救いの事実は見える! 「風」は「霊」、「音」は「声」とも訳せる。御声を聞き、信じて罪赦され、神との交わりが回復される! その聖霊の働きは見えないが、救われた事実は確認できる! 罪に沈んでいた人が重荷を降ろし、笑顔を回復され、希望と感謝の人生に変えられるのは御霊の働き!

**③風通しの良い人生とされる(8節)**…今、お互いにあるのは、愛・喜び・平和・寛容…? それとも、敵意や争い、怒りや分裂…?(ガラテヤ5:13～26!)。互いの心に、家庭に、教会に、どのように一致(平和)が保たれるのだろうか? どうすれば神に喜ばれるものになれるのだろうか? 「あなたはその音(声)を聴く(8節)」! 御声に聴き従い、神に喜ばれる環境づくりをすることが期待されている! 「永遠の命を持つ」とは、神との親しい交わりのこと。

★あなたの心は、聖霊が心地良く吹き抜けているだろうか? 日々御声を聴き、悔改めと感謝が素直に言える、好ましい、風通しの良い心・家庭・教会だろうか? 日々新しく、日々自由に聖霊のお取り扱いが受けられますように!